

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北茨城市	代表者名	豊田 稔
担当者部署	市長公室 企画政策課	連絡先電話番号	0293-43-1111
担当者役職	主任	担当者氏名	志賀 奈津美
住所	319-1592 茨城県北茨城市磯原町磯原1630番地		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<ul style="list-style-type: none">職員に対し、DX推進の意義を認識することができる研修を実施していただけたため。北茨城市の直近の状況を踏まえ、身近に感じる話題や問題を交えた研修により、研修受講者の理解度が高まり、より自分事として捉えてもらうことができたため。先進的な取組事例を紹介いただくことができ、職員の参考になったため。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月26日	講演（実地）	有	令和6年12月26日	1127
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月7日	講演（実地）	10時00分	15時10分	60
				活動時間（分）	250
3-2. 派遣場所	会場名	北茨城市役所	最寄駅	JR常磐線磯原駅	
	所在地	茨城県北茨城市磯原町磯原1630	最寄駅からの交通手段	タクシー、市バス、徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	課長級未満の一般職員	179 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市ではDX推進計画を令和4年度末に策定し、現在は推進計画に基づき取組みを進め始めたところである。 しかし、計画を推進するためにも庁内業務のDX化に向け職員一人一人が必要を理解しDXマインドを持ち自身の業務を見直すことが必要であると考えている。 まずは、職員自らが市役所の窓口に来た市民の立場を体験して窓口業務の改善の意識を持つため、窓口体験調査の実施を検討しているが、実りのある調査とするためには、知見のある方からのアドバイスが必要であると考えている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・自治体のDX推進とは何か、イメージができるようになること。 ・課長級未満の一般職員がDX推進の必要性を理解し、普段の業務においても常にDXマインドを持ち、全庁的なDX推進を図るための土壌を作る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・市長部局だけでなく、市の全部局の課長級未満の一般職員に対するDX推進のための研修を実施いただくことができた。 ・研修の受講態度を通して、今後のDX推進の進め方について助言をいただくことができた。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> DX推進計画を策定後、初めて全庁的なDX推進のための一般職員向けの研修を実施することができた。 実務を担っている一般職員がDX推進の必要性を理解し、普段の業務の見直しの必要性を理解してもらうことや、実際に改善の提案を行うための機運が高まることを期待したところ、研修後に実施したアンケートにおいて、「自治体業務のDX推進の必要性を実感した」と思う職員が96.6%に上り、自由記述部分でも「〇〇がしたい」という具体的な内容や、「△△が課題である」といった問題提起の回答等もあり、今回の研修により上記の支援により目指す成果を達成できたと考える。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>実施後のアンケートにおいて、出席した職員の96.6%が「自治体業務のDX推進の必要性を実感した」、83.6%が「所管する事業の実務に反映したい内容があった」と回答しており、職員自身の意識向上と業務見直しの参考になったと考えられる。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> DXに対する職員の意識向上を図る 窓口体験調査を実施し、その結果を基に「書かない窓口」を実現する 	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

